

嫌  
ゆ  
め  
女  
を

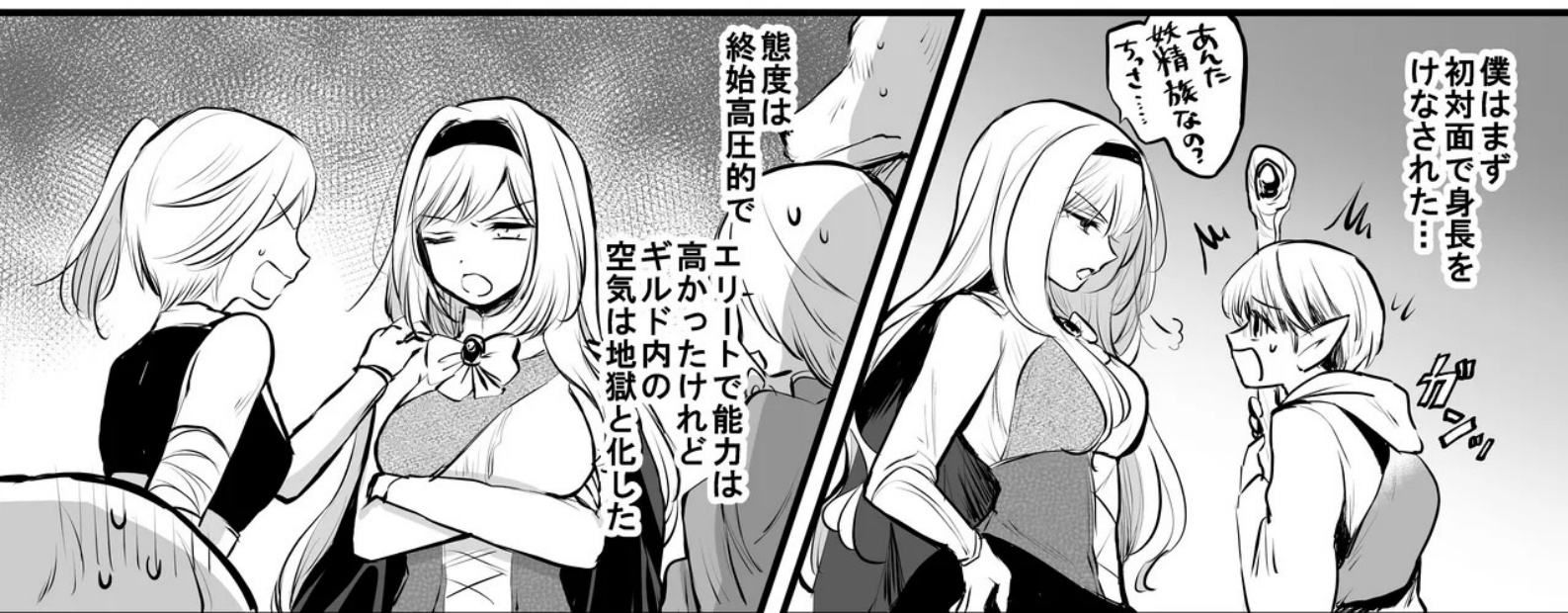
助  
け  
た  
ら  
……  
?







かつてのギルドメンバー、  
魔導士リイズ・クラウゼの印象は  
最悪だった。



僕はまず  
初対面で身長を  
けなされた！

あんた  
妖精族なの？  
ちよこ……

態度は  
終始高圧的で

エリートで能力は  
高かったけれど  
ギルド内の  
空気は地獄と化した



僕は耐えきれず  
胃痛を起こし  
10円半分を作り

あゝあゝあゝ  
うわあ

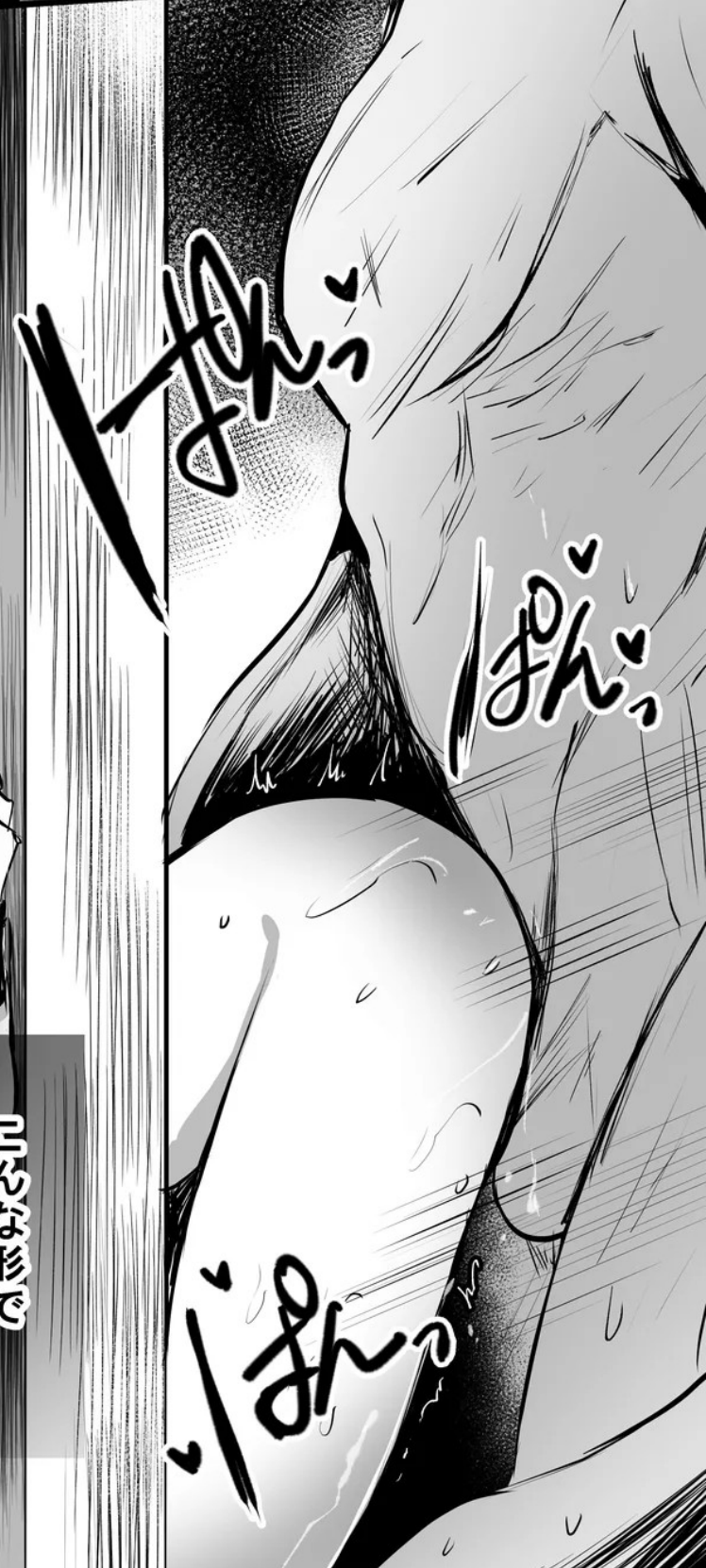
依頼を達成して  
解散したときは  
もう二度と会うこともない、  
せいせいする……と  
思っていた

1枚  
1発  
3000G  
1枚

1枚  
それが  
まさか……  
1枚



こんな形で  
再会するなんて  
……





この街には  
依頼の報酬金を  
受け取りに来た  
だけなのに...

なんだ？？？？？？？？？？

なんか賑やかだな  
と思つて近寄つてみた  
だけなのに...



いや冷静に考えて...  
あの人は優秀な  
魔導師だったんだし  
こんなドゴいる訳ない



きっと  
他人の空似  
だよ！  
帰ろう...

さあ~~~~~  
いらっしやい  
いらっしやい!!



知り合いの  
そういうシー  
ンに  
遭遇したとき  
の  
精神的ダメージ  
は  
計り知れなかつた

スーン...

SAN値  
↓



こちらの壁尻女!!  
なんと元エリート  
の女魔導士!

高慢ちきな上玉を  
こんな値段で  
ヤれるのはごだけ  
だよー! ツ!!

本人だ  
これ……



いくら上玉でも  
死にたくねえぞ

ご安心  
ください!!



っていつてもよ  
その女ワケ有り  
なんだろ?

聞いたぜ?  
最初は高級娼館に  
いたのが客半殺しにして  
壁尻器に  
格下げしたって



今は魔力を抑制する  
極めて強力な薬を  
催淫剤とともに  
投与しております!!

今のあの女は  
されるがままの  
無害なメスブタです!!



なーんだ  
それなら一発  
抜こうかな

あーがどう  
ござりまする〜

しかし  
バカな女  
だなー



ヤク漬けで  
公衆便所にされちゃ  
娼館にも戻れねえ  
身請けする物好きも  
現れねえ



高級娼館で  
お偉いさんに媚びてりゃ  
もっと楽な人生  
送れてただろうに



死ぬまで一生  
ここで犯され尽くす  
運命なんだからな



んじゃ次  
俺な



…バンクに  
預けてる  
お金が…  
……

いやいや何  
考えてるんだ  
僕は…



……  
……  
……

…今回の  
報酬が…  
10万G

まいどありっ！





死ぬまで  
一生……

だって  
あんなこと  
聞かされたら……

……身請け  
する時に

元締めが  
教えてくれた  
……



この女にはねえ  
借金があるんですわ

ハメられたとか  
何とか本人は  
騒いでましたがね

借金は借金  
そのカタに  
身体売らせとったん  
です

ま  
使えません  
でしたけど



欲しい言うなら  
あげますけど  
大変ですよ

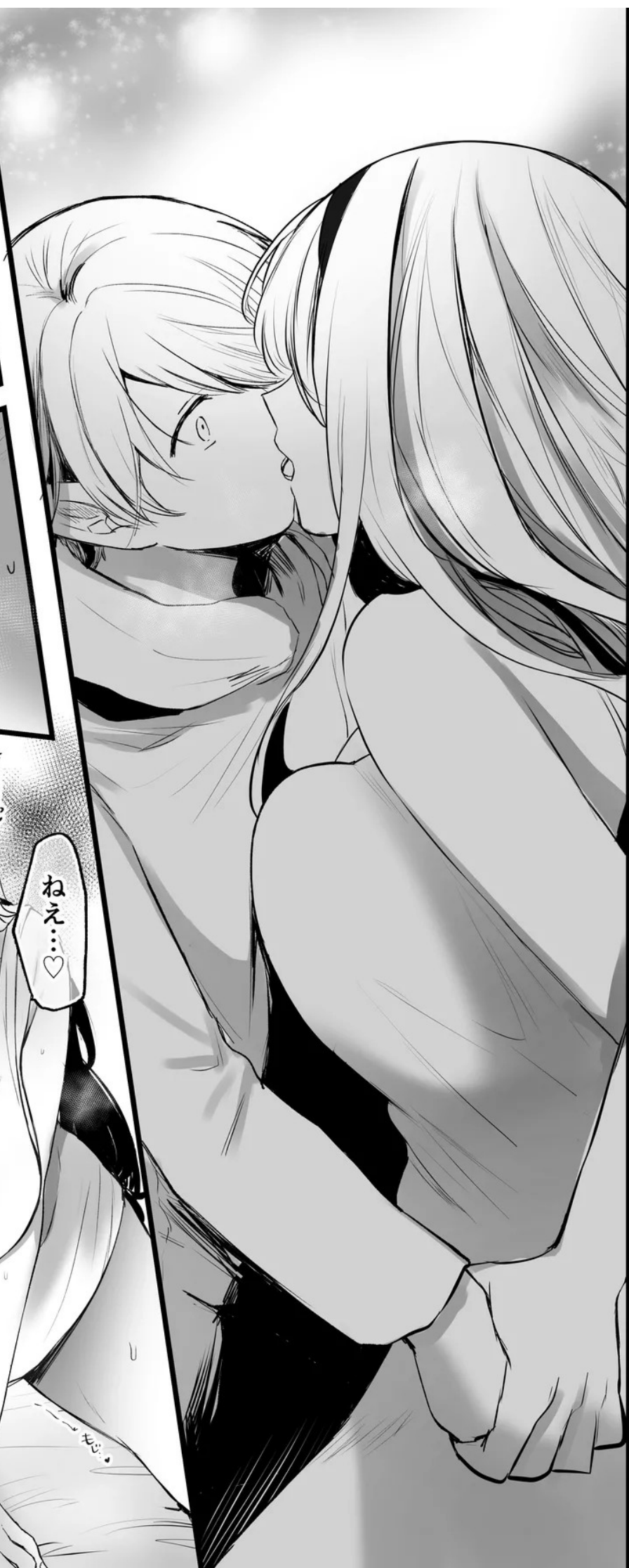
物好き  
ですわね

人……

！  
気がつい……



!!!?



ムズムズする...



ねえ...♡

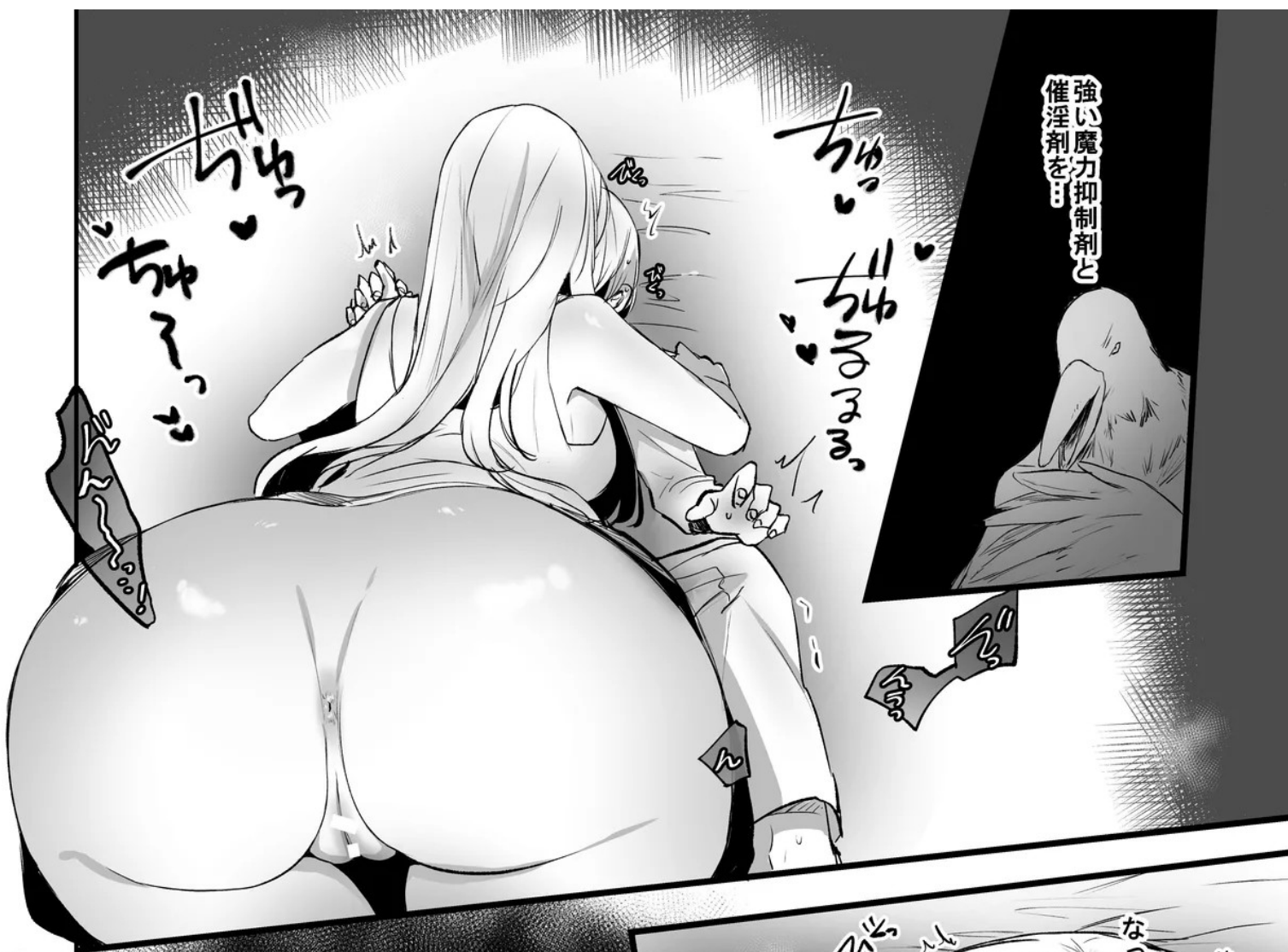
ムズムズするのぉ...♡

はぁ...

はぁ...

はぁ...

強い魔力抑制剤と  
催淫剤を...











もっとお……♡

はっ

はっ

はっ

はっ

その日のセックスは朝まで続いた。

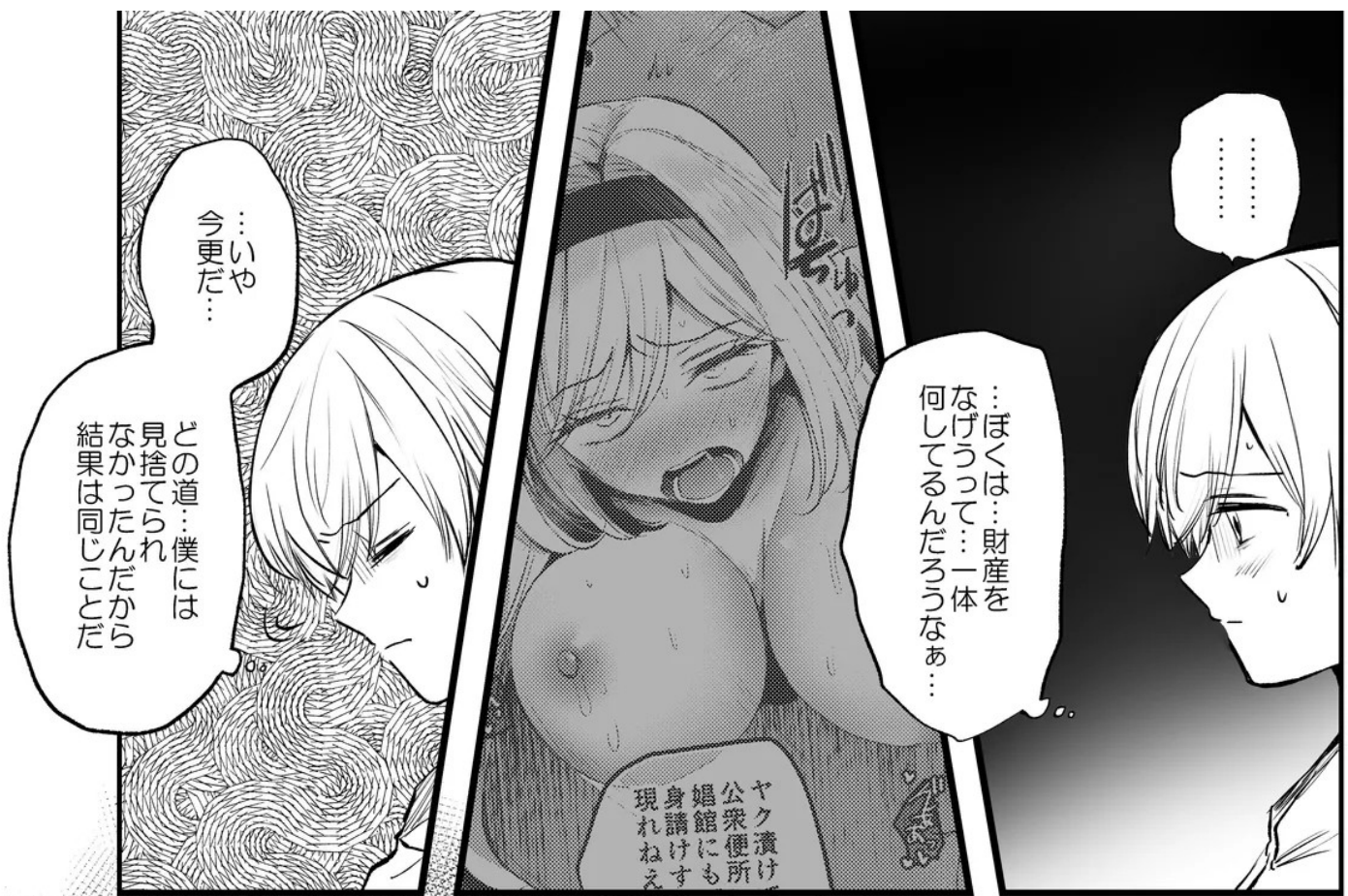


甘く……見てた

ヒールを使っても  
多少中毒症状は出るかと  
覚悟してたけど……

効果がいまだ強く継続する……  
こんな悪質な薬を  
服用させられてたなんて





…いや  
今更だ…

どの道…僕には  
見捨てられ  
なかつたんだから  
結果は同じことだ

…ぼくは…財産を  
なげうって…一体  
何してるんだらうなあ…

ヤク漬け  
公衆便所  
娼館にも  
身請けす  
現れねえ



こういうとき  
大切なのは  
「諦め」と「切り替え」  
!!

とにかく…  
やれることを  
やろう

解毒剤の  
調合…と…

…精力剤も…  
…作っておこう…



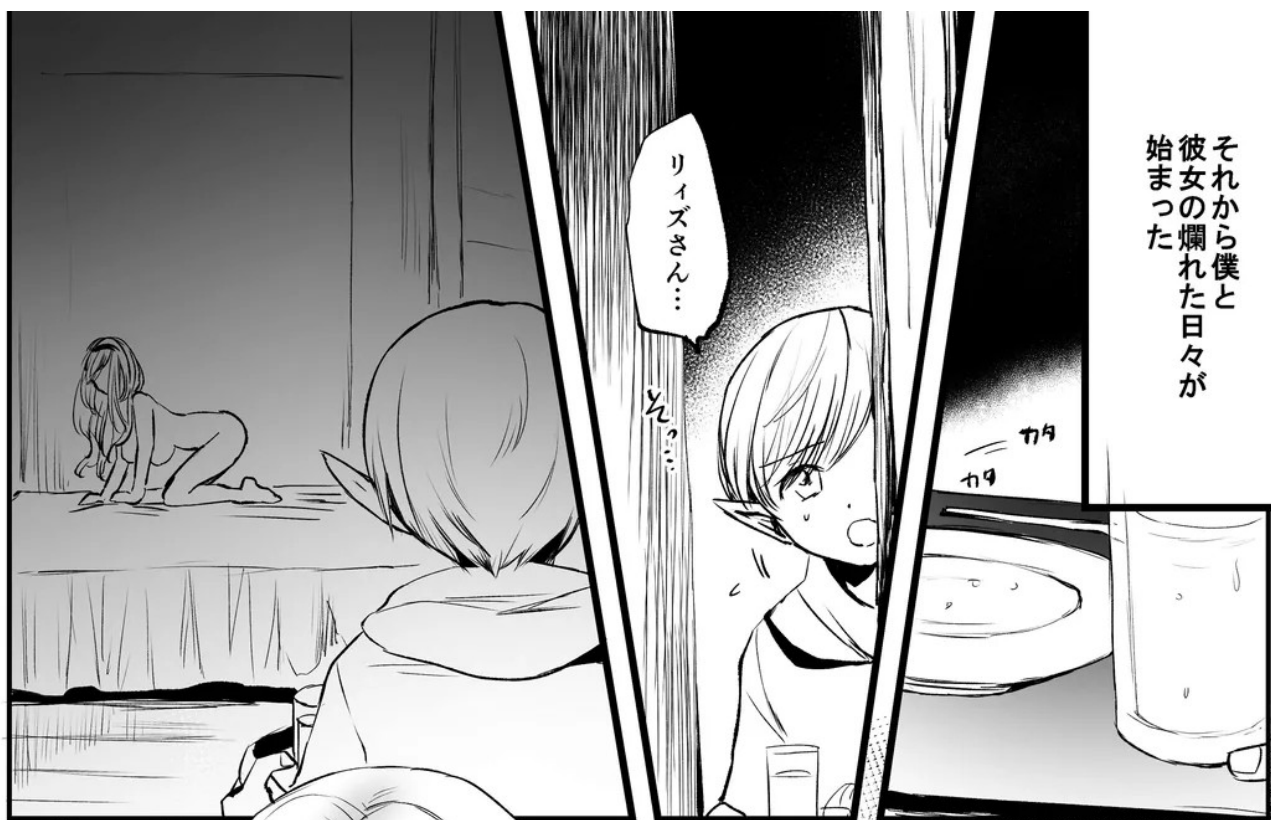
それに…  
なんだか

ずっと苦しかった…

それから僕と  
彼女の爛れた日々が  
始まった

リーズさん…

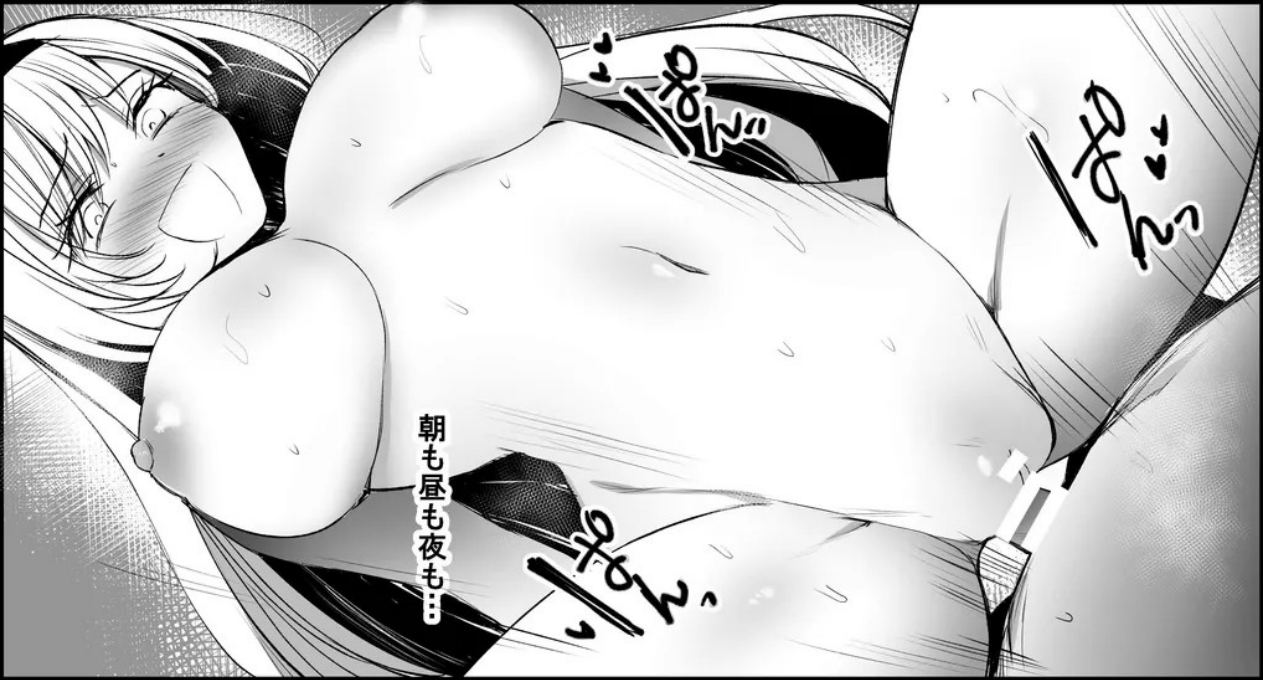
んっ…



たくさんの  
緩和薬を飲ませても  
腕利きの魔導士の  
治癒魔法を受けても

彼女の中の毒は  
しぶとく居座って  
理性を溶かし続けていた





朝も昼も夜も



求められて



求められて

求められて

求められて



隙を見て彼女に  
薬を与え続けた

調合した緩和薬が  
合わなくて  
吐いてしまう  
こともあった



それでも  
少しづつ与えて



与えて

与えて……



ーだから

やや  
キト...



おは……

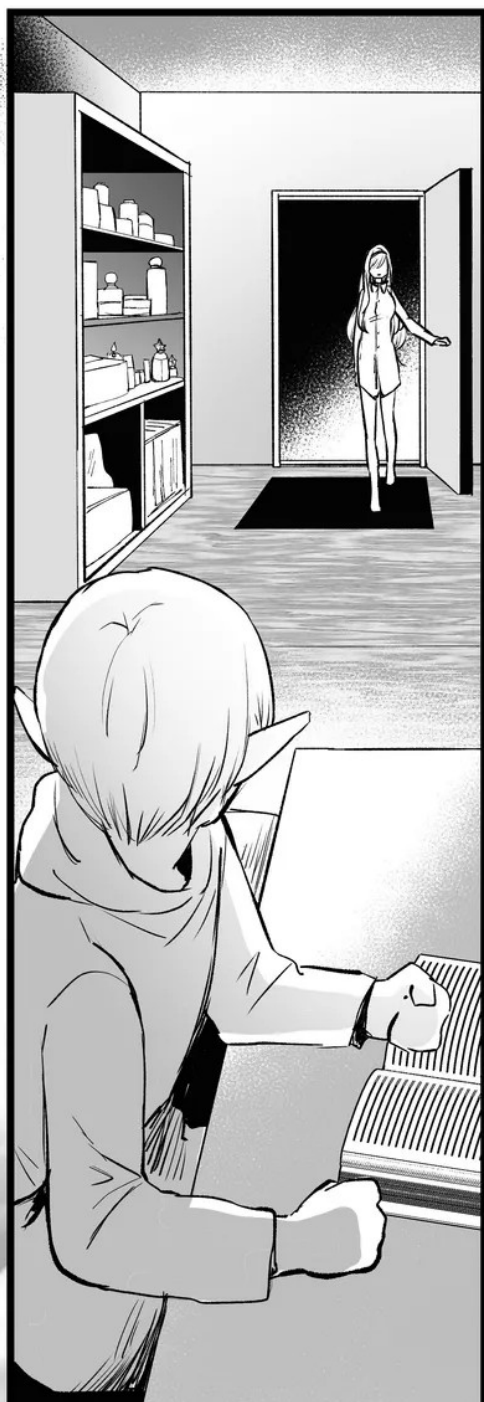
……

だから  
出口のないトンネルを  
這って進むような  
日々の中で



彼女が伏し目がちに  
朝のあいさつを  
してくれた瞬間は

涙が出るほど  
嬉しかった……





幸運だったのは  
彼女が我を失っていた  
時の記憶を  
覚えていてくれたことだ

ずっと夢を…  
見ていたような  
感覚なんだけど

あなたには  
随分…その…  
世話になった  
みたいね

…あの

面倒事に  
巻き込んで…  
悪かったわ



…はい



昔  
同じパーティで  
任務にあたった  
ことが…



私たち…

どこかで  
会ったこと…  
…あつたかしら



別に昔の僕を  
覚えてくれてる  
なんて事は最初から  
期待してなかった

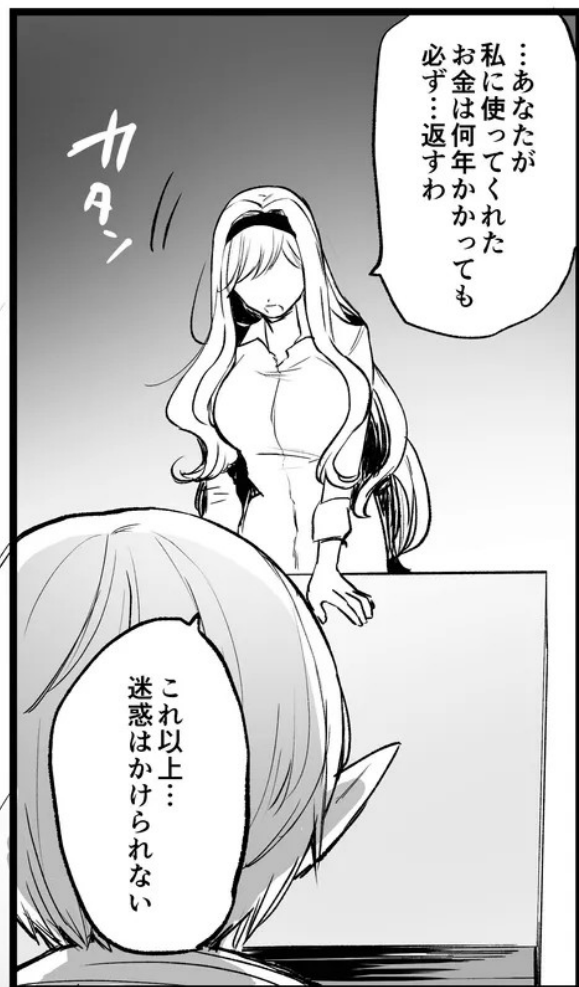
彼女にとって  
僕はただ使えない  
メンバーの一人に  
過ぎなかった  
だろうから……

.....  
そう.....  
.....



明日にでも  
出ていくわ

.....助かった、  
ありがとう.....



.....あなたが  
私に使ってくれた  
お金は何年かかっても  
必ず.....返すわ

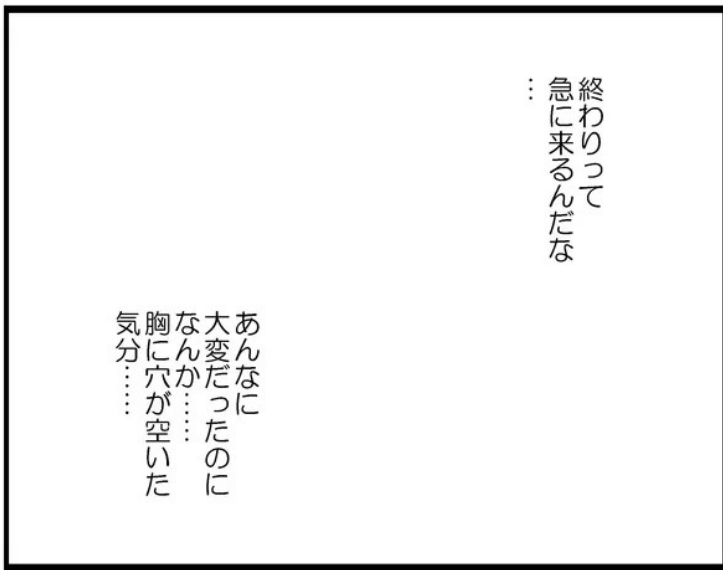
カタン

これ以上.....  
迷惑はかけられない



……なんか  
気が抜けちゃった  
……

ポ



……  
終わりにって  
急に来るんだな  
……

あんなに  
大変だったのに  
なんか……  
胸に穴が空いた  
気分……



もう薬の  
調合をしなくても  
いいんだ

ごはんを  
三人分  
作らなくても……



弱ってるリースさんに  
頼られて……触れ合ってる……

前よりずっと  
距離が近づいた気が  
してたけど……

覚えているとはいえ：  
今までのリースさんは  
正気じゃなかったん  
だから

うん





昼間…は  
大丈夫…っ  
だった…のに

はっ  
はっ  
はっ

夜になって  
急にっ…

体のコントロール  
効かな…  
熱くて…っ

一人で  
して…も…っ

治まらな…



ま…  
まだ毒が…

だ、大丈夫  
…っ！

を触って…  
いいのかわ…

今の…  
レイズさんは

！

おっ



は…早く…  
触りなさいよ…

はっ

はっ

はっ

はっ

っ  
ちがう…

さわって…

おねがい…

あっ…



ド  
サッ



いいつも  
上に乗られるだけ  
だったから！

リーズさんに  
求められて  
この体勢になるのは  
初めてだ！！



じ…焦らさないで  
…っ

はやくっ♡



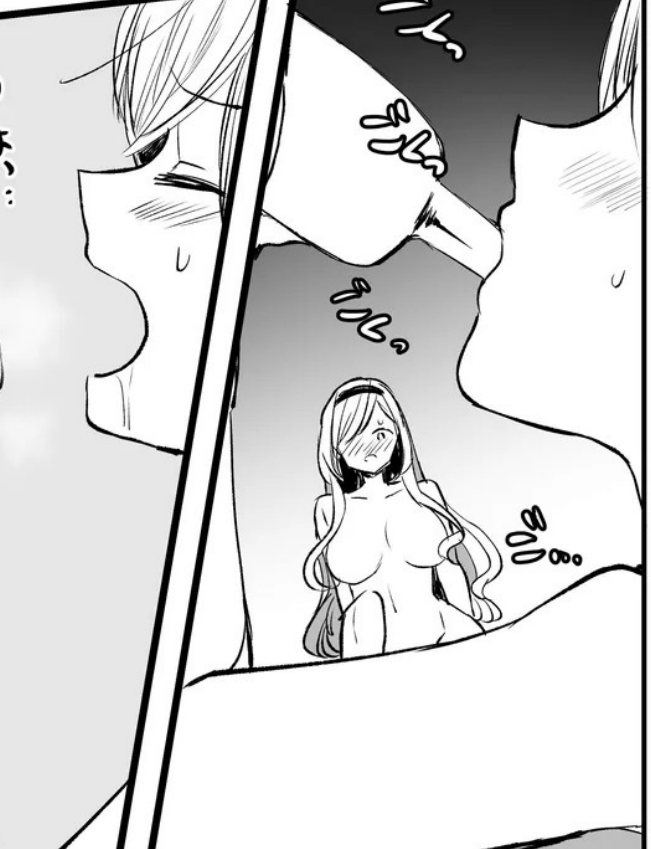
は…早く…



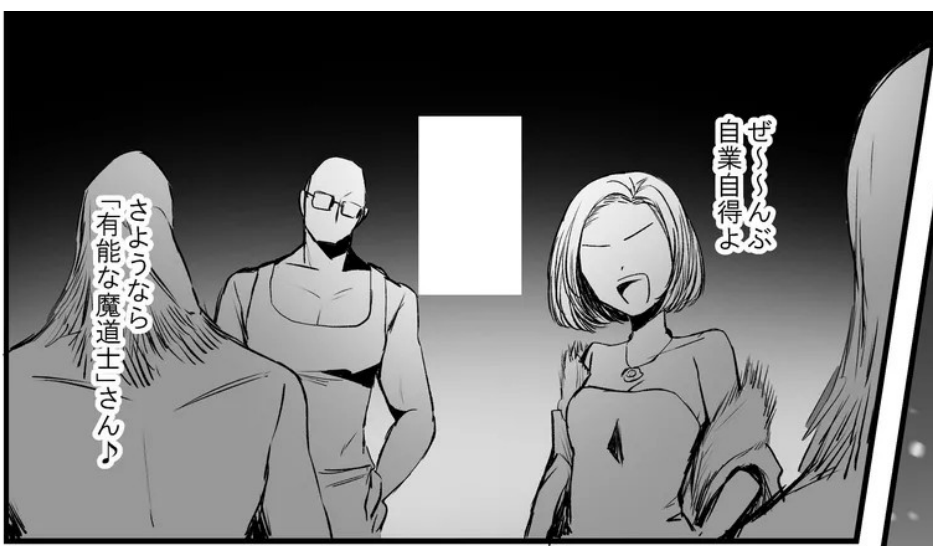
ぬるぬる、だ…











「さよなら  
「有能な魔道士」さん♪

ぜいぶんぶ  
自業自得よ



わたし  
あなたの名前だつて  
……覚えてない!!

なのに……



なんで……

……



昔の私  
知ってるなら……  
なおさら



他人なんか皆  
無能だと思つて  
……見下して……  
酷いことも沢山言つた

それで恨まれて……  
ハメられて  
……あんなところに  
売り飛ばされて……



同じギルドだった時も…  
レイズさんのこと  
怖くて好きじゃなかった

身体を売っていた  
あなたを最初は  
見捨てようと思  
っていた…



身請けしたのは  
いきさつを知った  
同情もあったけど  
…あの場で何もしない  
自分になりたく  
なかっただけ…なんだ



……ぼくは…  
あなたが思ってるほど…  
……やさしくない…

ほ  
ほ



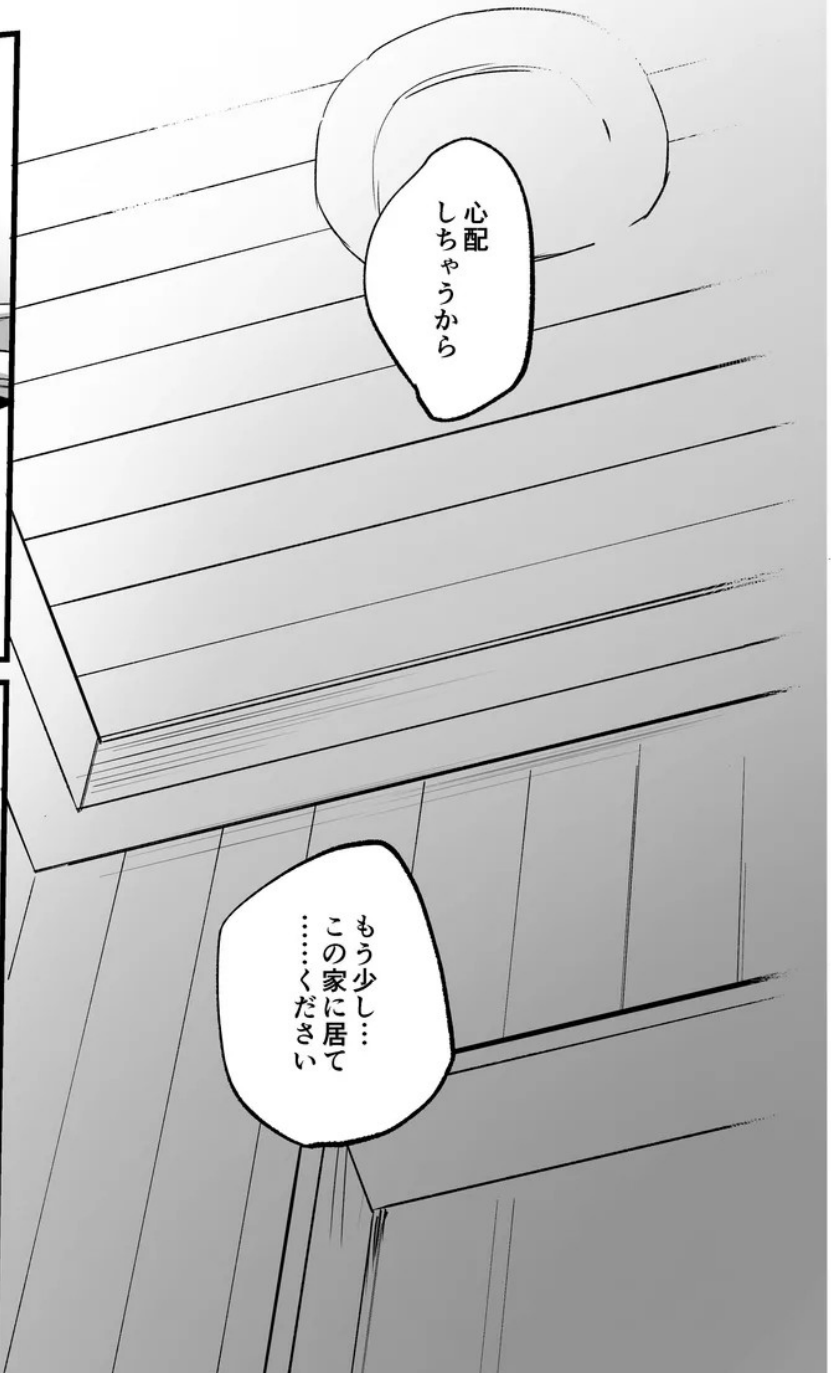
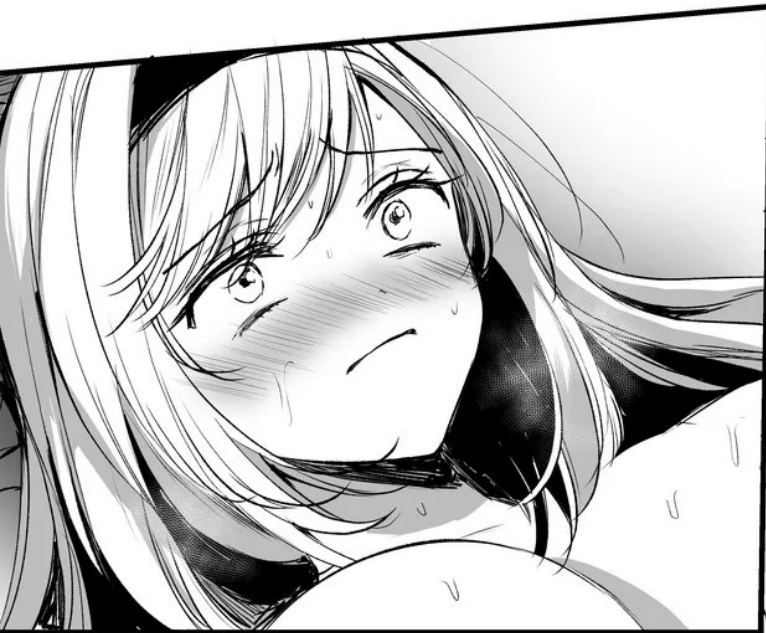
でも…  
何でか  
わからないけど…

今は…  
レイズさんのこと  
放っておけない…!



お願い…  
聞いてくれるなら

…もし



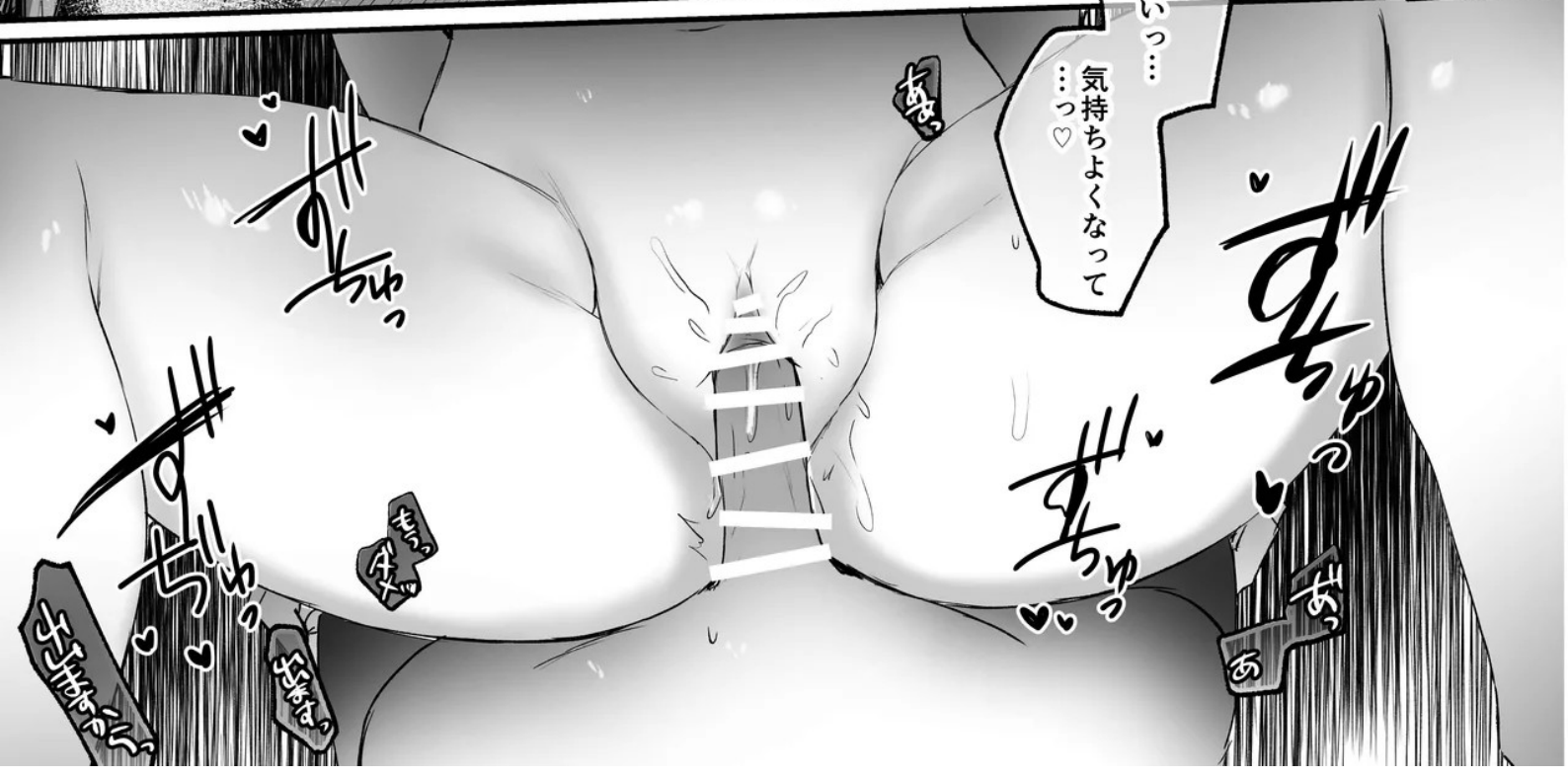
心配  
しちゃうから



もう少し…  
この家に居て  
…ください

…  
…  
…  
変なやつ…







あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!

あーっ!!

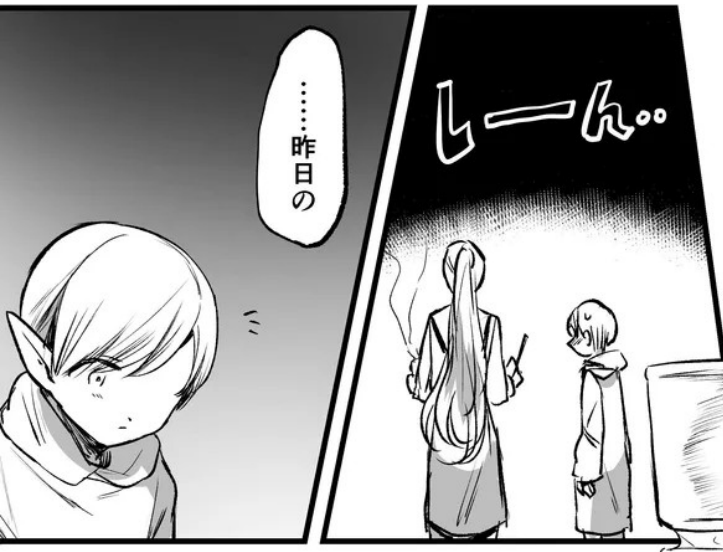
おひとよし  
……  
ほっ……





あ...お...  
おはようございます  
ご飯作って  
るんですか

...ええ



...昨日の

レーン



...!  
は...はい!  
ありがとうございます

...うん



もう少し  
この家に居て...っていうの  
聞いてあげる...わ

あなたが私を  
いわゆる...心配  
しなくなる...まで



!

す...



僕は：  
僕の名前は

キースです  
：リースさん



私は：  
リース

リース：  
クラウゼ

妙なきっかけから  
始まった  
同居生活は



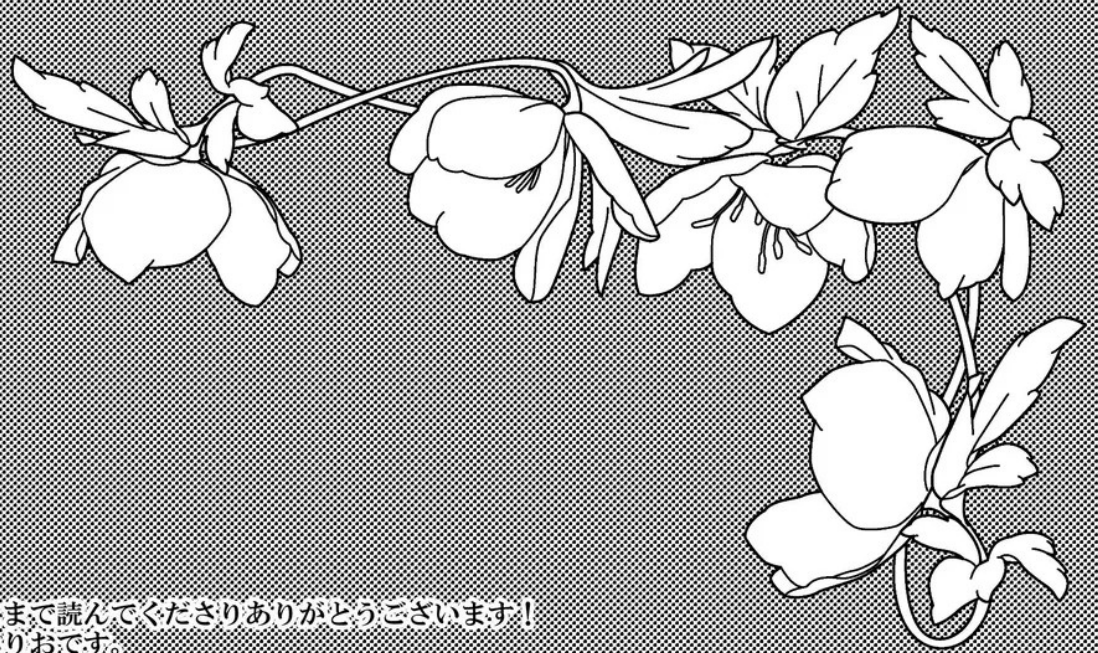
もう少し  
続きそうです



!?  
なによ  
食べれる  
じゃない？

うっ…!?  
こ…これ  
味見  
しましたか…？

ハハハ



ここまで読んでくださりありがとうございます!  
えみりおです。

今回はハートフルおねショク(?)になりましたが  
いかがだったでしょうか~  
ショクとお姉さんがけっこう対等の立場なのでおねショクと言っているか  
分からないですが…  
もともとは、謝ってももう遅い!系の話で考えてたんですが  
話しを考えていくうちに、もう遅い!非されて見捨てられたお姉さんを  
ショクが拾う話しになっちゃいました。  
もし楽しんで頂けていたら嬉しいです!

サークル:手つかずの青。  
えみりお

mail: emiliopanda123@gmail.com  
pixiv: 4427149  
Twitter: emiliopan2.





嫌われ女を助けたら…？